未来視点で利活用を考える

第３回旧豊田貯水池フューチャーデザインワークショップを開催します!

ターゲット 11.3

2026 年 11 月 12 日
郡山市財務部
公有資産マネジメント課
課長　横堀　孝尚
TEL：924－2058

SDGs ターゲット 11.3 「2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。」

全３回の連続プログラムにより実施している旧豊田貯水池フューチャーデザインワークショップについて、最終回となる第３回ワークショップを開催します。

本ワークショップは、旧豊田貯水池と開成山地区を一体的に捉え、持続可能な財産として将来に引き継いでいくため、「将来世代の視点や利益」を意思決定に反映させる「フューチャー・デザイン」の手法により、市民や関係団体と利活用について検討しています。

当日は、参加者が各グループに分かれて、約 30 年後の 2055 年の貯水池のあり方とその実現までの出来事について、2055 年の未来人として議論し、グループごとに発表します。

1　日時　　11 月 18 日（水）13：30～16：00

2　会場　　開成山公園 C 棟多目的スペース（郡山市開成一丁目 5）

3　参加者　　下記のとおり 29 名

名　称	人　数	名　称	人　数
郡山商工会議所	４名	郡山女子大学学生	２名
郡山地区商工会広域協議会	３名	郡山女子大学短期大学部学生	２名
福島さくら農業協同組合	３名	Ｚ世代・子育て世代関係	６名
郡山青年会議所	３名	市職員	４名
日本大学工学部学生	２名		

4　内容（予定）

（1）グループワーク

・2055 年の旧豊田貯水池の役割やあり方

・2026 年から 2055 年までのフューチャーヒストリー（年表）

（2）７グループによる意見発表・共有